



国際ロータリー第2530地区 東北第一分区
福島南ロータリークラブ会報
 事務局連絡先 024-546-3793



2021. 6. 9

会員 73 名中 45 名出席 61.64%
 修正 52 人 71.23%
 メイクアップ 7 名

国際ロータリー会長 ホルガー・クナーク Holger Knaack

国際ロータリー第2530地区ガバナー 石黒 秀司

福島南ロータリークラブ 会長 松崎 弘昭

標語「後から来る者の種火となって共に熱く燃えよう」

例会会場連絡先/クーラクーリアンテナパレス TEL 024-523-3811 毎週水曜日 12:30~

◆会長挨拶 松崎 弘昭 会長



もうすぐ梅雨に入りますが、梅雨に入ると、湿っぽい風が吹き、少し蒸し暑い日が続くようになります。雨の日はどちらかと言えば憂鬱ですが、青山を映す田んぼの景色が広がる潤いに満ちた季節でもあります。

郭公は知ってのとおり自分では巣を作らず、他の鳥の巣に卵を産み、自分以外の卵を巣からはじき出します。そして、そのことを知らないその巣の鳥は一生懸命郭公の卵を温め、雛を孵し、餌を運んで育てるのです。このような郭公のことを皆さんはどのように思うでしょうか。「盗人猛々しい」と思う方が多いような気がしますが、人間の社会にも似たようなことは起こっているような気がします。

考えてみると、世の中は必ず、陰と陽、あるいは善と悪があって、それらが相対するバイオリズムで絶妙なバランスが保たれているのです。喩えは悪いですが、盗人のように悪いことをする人がいなければ、それを捕まえる警察もいなくなり、世の中のみんが思いやりの心を持った人だけになったら、それを目的としているロータリアンもいなくなるわけです。そして、また、同じ一人の人間でも、時として悪人になったり、善人になったりもするし、出来の悪い人が、何かのきっかけで目覚めて立派な人になったり、逆にあんなに良い人が、と言われていても何処かで道を外したりもするわけです。

今日のゲストスピーカーの宗形守敏さんも、当クラブのチャーターメンバーで、20年前に福島21RCが誕生したときの初代会長を務められて、立派な功績を残されていますが、よくお話しをお聴きすると、やはり、陰陽というか、例会に出席しない不良会員の時代があったそうであります。

このように、善と悪は、常に隣り合わせでありまして、オセロゲームのようにちょっとしたきっかけで白黒が変わってくるのです。江戸時代中期の儒学者であり思想家でもある荻生徂徠は「器材なるがゆえに癖を捨てるべからず。人を用うる道は、その長所をとりて、短所はかまわぬことなり。ただよく長所を用うれば天下に棄物無し。」とっております。

経営者や管理者から見れば、どうしても社員や部下の短所が目につくのですが、多くのことを学んでいる我々ロータリアンは、社員や部下の良いところを如何に伸ばしてあげるかを考えたいものであります。

次回6月16日(水) 休会

次回6月23日(水) 第45回例会プログラム

1. 開会点鐘
 2. ロータリーソング
 3. 四つのテスト
 4. 会長挨拶
 5. 実行委員報告
 6. 2020-21年度委員会活動報告
 7. 幹事報告
 8. 閉会点鐘
- (各委員会委員長)

*麻薬撲滅キャンペーン (6月26日は国際麻薬乱用撲滅デーです。)

【 例会予定 】

6月30日(水) 2020-2021年度 最終例会

【 地区・分区・その他関連行事 】



◆米山奨学生奨学金授与 米山記念奨学生 福島大学 于 秋麗 様



福島大学の学生で、趣味は旅行と卓球です！
 大学では、行政政策学類で刑事政策を学ぶ高橋有紀ゼミに所属しております。テーマは、矯正・更生保護、再発防止政策について研究しています。そこで「更生保護を多くの人に知ってもらう」ための広報のあり方を考えるために作ったTwitterです！多くの方が更生保護に関心を持つきっかけになればうれしいです。なお、このアカウントは学生が授業内で検討し作成した投稿内容を中心に教員の責任で投稿しています。特に内容を分かりやすく配信することをテーマにしています。



福島大学高橋有紀ゼミ (3, 4年ゼミ)

<https://twitter.com/yukizemi2020>

国際ロータリー第2530地区
 2021学年度 ロータリー米山記念奨学生
 世話クラブ:福島南ロータリークラブ

于 秋麗

YU. QIULI
 福島大学 行政政策学類 地域政策と法コース

国際ロータリー第2530地区
 世話クラブ:福島南ロータリークラブ
 カウンセラー:鈴木 洋子

◆ゲストスピーチ 福島21RC初代会長 モリヨシ技研会長 宗形 守敏 様



ロータリー歴50年、21RC初代会長を歴任されました。
 株式会社モリヨシ技研さんは、福島市松川で金型製造・プラスチック成形をしており、出張で福島と関西を行き来していた為、RC入会当初は欠席が多い不良会員だったそうです。

今回新聞に「植物性トレー開発」という記事が掲載されました。ここ数年、プラスチックごみによる環境汚染に心を痛め「現在はプラスチックがマイナスチックになっている！」と、御年80歳になり、何かできないかと考え、もみ殻で作るトレーを開発されました。土にかえる画期的なトレーです。広く社会に受け入れてもらいたいと話されました。

「宗形さんはマイナスチックからプラスチックへ、その新発明はとてもロマンチックですね！」と松崎会長の講評でした。



株式会社 モリヨシ技研
 社章について



より良い成果を求めて地域とともに



県北第一分区 2020年-21年 分区行事『My Healthy Action (健康と福島を知る)』

6月12日土曜日、福島21RCホストによる健康レクリエーション『My Healthy Action (健康考え、福島を知る)』に参加してきました。信夫山の護国神社にて、参加者全員の健康祈願、疫病祈願を行ったのち、スタートしました。散策ルートは信夫山ガイドセンター⇒古閑裕而記念館(見学)⇒信夫山天満宮・神牛(なで牛)⇒解散となりました。思いのほかハードな信夫山のアップダウンな散策ルートでしたが、大橋パストガバナーも完走されました！



天気にも恵まれて、絶好の散策日和でしたが、軽い散歩気分に参加したのに、プチ登山のようなハードな散策でした。なんとか無事ゴールして、万歩計10,000歩。絶景あり、新たな発見ありで信夫山恐るべし！ 会報委員長：齋藤弘之